

医療機能調査票（病院用）（令和4年1月1日現在）

1 基礎項目・調査票の記入者

調査票記入日	令和 年 月 日
医療機関名	
施設種別（該当項目に○を付けてください）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所
医療機関の所在地	
主たる診療科	
記入者の職名及び氏名	
連絡先TEL	F A X
メールアドレス	

- 本調査は、令和4年1月1日現在の状況に基づいてお答えください。
- 回答は、設問の該当する項目に○を付けるか、該当する数字を記入してください。記入がない場合は、「0」又は「該当無し」として整理させていただきます。
- 回答いただいた全ての調査票をこの用紙に添付して回答してください

「がん」の診療について	行っている		⇒ 調査票2ページ～3ページ(がん)の間にお答えください
	行っていない		

「糖尿病」の診療について ※産科、眼科含む	行っている		⇒ 調査票4ページ(糖尿病)の間にお答えください
	行っていない		

「精神疾患」の診療について	行っている		⇒ 調査票5ページ(精神疾患)の間にお答えください
	行っていない		

「救急医療」(救急受入、救急医療機関と連携した受入)について	行っている		⇒ 調査票6ページ(救急医療・救急期後医療対策)の間にお答えください
	行っていない		

「災害医療」について ⇒ 全ての病院・診療所は調査票6ページ(災害医療)の間にお答えください

「在宅医療」について ⇒ 全ての病院・診療所は調査票7～8ページ(在宅医療調査票)の間にお答えください

自由記入欄(医療施設一覧への掲載を不可とする項目がありましたら、こちらにご記入ください)

医療機関名	
-------	--

2 がんの診療について

1 医療体制

(1) 医療体制について

以下の各項目について、該当するものに○をしてください。

※「整備されている」とは、要項、規定、運用マニュアル、運用ルール等があることを指し、「機能している」とは、要項、規定、運用マニュアル、運用ルール等に沿って、実際に開催されていることを指します。

区 分	組織上明確に位置づけられた上で整備され、機能している	整備はされているが、機能していない	整備されていない
がん診療部			
がん薬物療法のレジメン審査・登録・管理委員会			
緩和ケアチーム			
セカンドオピニオン			
院内がん登録に関する委員会			
医療安全管理に関する委員会			

2 がん計画関連

(1) がん診療を行っている医療機関の体制について

該当するものに○をしてください。

区 分	該当する場合は○
①小児固形腫瘍患者に対するがん診療部が多職種かつ専門家で構成されている	
②小児固形腫瘍患者に対して、他科と連携のとれた長期フォローアップ外来を設けている	
③手術療法、放射線療法、薬物療法及び科学的根拠を有する免疫療法等を効果的に組み合わせた集学的治療を推進している。	
④薬物療法の標準治療を推進し、薬物療法を必要とする患者が標準治療を受けられる体制を整備している。	
⑤quality indicator(QI)を活用した術後補助化学療法の標準治療を実施している	
⑥リハビリテーションチームを組織し、必要な研修を受講させている	
⑦専門医師とともに、患者のリハビリの有無を早期に判断し、必要な場合はリハビリチームと連携して適切なリハビリ実施体制を整備している	
⑧ガイドラインに沿った適切ながん支持療法を実施している	
⑨院内の専門チーム(①緩和ケア②リハビリテーション③栄養サポート④口腔ケア⑤感染防止対策等)を組織し、患者が必要とする連携体制がとられている。	
⑩がん診療に携わる医師は、患者に対しインフォームドコンセントを行い、セカンドオピニオンについて情報提供を行っている	
⑪がん診療に携わる医師は、患者に対し、アドバンス・ケア・プランニングを行っている	
⑫すべての患者に対して、在宅医療に関する適切な情報提供を行っている	
⑬退院前カンファレンスなどをおして、多職種チームによる在宅医療の検討体制が整備されている	
⑭地域の在宅医療機関、薬局及び訪問看護ステーション等との連携を図り、夜間等における医療用麻薬の提供体制等、在宅医療が適切に実施される体制を整備している	

⑮在宅医療を提供する医師のうち、がん疼痛緩和医療ができる医師を増やす取組みを行っている	
⑯がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のモニタリングを診断時から外来及び病棟で実施するなど、緩和ケアの推進に必要な取組みを行っている	
⑰地域の医療従事者も含めた医療用麻薬に関する院内研修を定期的実施している	
⑱専門的な資格を有する身体的・精神心理的緩和ケアに携わる医療従事者 [*] の育成や適性配置を行っている ※緩和医療専門医、精神腫瘍医、がん看護関連の専門・認定看護師、がん専門薬剤師等	
⑲緩和ケア研修会に自施設の医療従事者を受講させている。	
⑳高齢のがん患者の特性に応じた適切な医療を提供している	
㉑患者の状況に応じた生殖機能の温存等に関する情報提供、支援及び診療体制を整備している	
㉒希少がん患者を県がん診療連携拠点病院である琉球大学病院に紹介する体制を整備している	
㉓希少がん患者に対して、琉球大学病院が設置するがん相談支援センターを紹介し、QOLの観点を含めた必要な情報提供を行っている	
㉔難治性がん患者を適切な医療機関(対応可能な医療機関等)に紹介している	
㉕患者やその家族に対して、がん相談支援センターの活用について情報提供を行う体制が整備されている	
㉖「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」認定事業による認定取得に向けて取り組んでいる	
㉗がん患者等への相談支援の実施にあたり、関係機関(地域の医療機関やハローワーク等の就労支援関係団体等)と組織横断的に連携し、必要な情報共有を行う体制を整備している	
㉘がんピアサポーターを知っている。	
㉙がんピアサポーターの活用を図っている	
㉚患者やその家族に対して、県等が作成する普及啓発資材(がんサポートハンドブック等)を活用しながら、がんに関する情報を、適切な時期(告知時等)に提供している	
㉛患者やその家族に対して、がん相談支援センターを活用した就労相談に関する情報を提供している	
㉜患者やその家族に対して、県等が作成する普及啓発資材を活用しながら、がん治療における外見変化や生殖機能の温存など、QOLの向上に関する普及啓発に取り組んでいる	

医療機関名	
-------	--

3 糖尿病の治療について

(1) 人工透析装置

区 分	有	無
人工透析装置の有無		

(2) 妊婦対応

区 分	対応可能	対応不可
妊婦対応		

(3) 糖尿病性網膜症の治療

区 分	対応可能	対応不可
糖尿病性網膜症の治療が可能である		

(4) 神経障害等の治療

区 分	対応可能	対応不可
糖尿病性足病変（足のケア、セルフケア指導等）		

医療機関名	
-------	--

4 精神疾患の診療について

(1) 精神医療の対応状況

該当するものに○をしてください。

区分	実施している	実施していない
精神科救急外来		

(2) 精神科以外の疾病を合併している患者の対応状況

該当するものに○をし、対応可能な疾患（診療科）名を記入してください。

区分	可否	対応可能疾患(診療科)名
精神科疾患のみ対応し、合併症は他院で対応		
合併症の一部は対応可能		
合併症のほとんどを自院で対応可能		

(3) 精神科の専門的診療

該当するものに○をしてください。

区分	実施している	実施していない
統合失調症		
うつ病・そううつ病		
認知症		
児童・思春期精神疾患		
発達障害		
アルコール依存症		
薬物依存症		
ギャンブル等依存症		
外傷後ストレス障害(PTSD)		
高次脳機能障害		
摂食障害		
てんかん		

※専門的診療とは

初期治療だけでなく、症状や家族関係・生活歴を踏まえ、高度な精神療法、環境調整・投薬などを行うこと。

(4) 認知症サポート医の在籍状況

認知症サポート医の人数を記入してください。

区分	認知症サポート医がいる	人数	認知症サポート医はいない
医師		名	

(5) 災害精神医療の状況

各区分に該当がある場合に○を記入してください。

区分	DPAT(災害派遣精神医療チーム)を組織している	先遣を組織している	災害拠点精神科病院の指定を受けている
該当の有無			

医療機関名	
-------	--

5 救急医療について

- (1) 小児の救急受入体制 (R3年1月1日～R3年12月31日)

区 分	人数
小児（3歳未満）の夜間・休日等の診療時間外の救急受け入れ患者数	人

該当するものに○をしてください。

区 分	有	無
小児在宅医療患者（医療的ケア児）の救急受入体制を整備している		

6 救急期後医療対策について

- (1) 救急医療機関と連携した患者の受入体制

該当するものに○をしてください。

区 分	有	無
人工呼吸器が必要な患者や気管切開等のある患者を受け入れる体制を整備している		
重度の脳機能障害（遷延性意識障害等）の後遺症を持つ患者を受け入れる体制を整備している		

7 災害医療について

- (1) 非常用自家発電設備の有無を記入してください

区 分	有	無
非常用自家発電設備		

- (2) 非常時用の燃料・水の備蓄の有無を記入してください

区 分	有	無
非常用自家発電装置の燃料を3日分備蓄している		
非常時用の水を3日分備蓄している		

- (3) 災害時（発災5日以内）に被災地へ派遣可能な医療従事者数
人数を記入してください。

区 分	人数
災害時に被災地へ派遣可能な医療従事者数（人）	

DMATや医療救護班を含む医療従事者で、発災時（発災5日以内）に、派遣が可能な医療従事者の総数を御記入ください。

御協力ありがとうございました。

医療機関名	
-------	--

1. 在宅医療の実施体制について、該当するものに○を付けてください。

(1) 訪問診療を行っている〔在宅患者訪問診療料〕	はい	→(2)へ
	いいえ	→(3)へ
(2) (1)の答が「はい」の場合、将来に向けた実施の意向 (右の選択肢の中から選択)	今後も継続実施する	
	今後は中止する	
(3) (1)の答が「いいえ」の場合、将来に向けた実施の意向 (右の選択肢の中から選択)	今後は実施する	
	今後も実施予定なし	
(4) 訪問看護を行っている〔在宅患者訪問看護・指導料〕	はい	→(5)へ
	いいえ	→(6)へ
(5) (4)の答が「はい」の場合、将来に向けた実施の意向 (右の選択肢の中から選択)	今後も継続実施する	
	今後は中止する	
(6) (4)の答が「いいえ」の場合、将来に向けた実施の意向 (右の選択肢の中から選択)	今後は実施する	
	今後も実施予定なし	
(7) 医療機関（特に一人の医師が開業している診療所）が必ずしも対応しきれない医師不在時、患者の病状の急変時における診療の支援を行っている		

(1)の答が「はい」（訪問診療を実施している）の場合、以下の項目に回答してください。

ア 訪問診療を実施している医師数	人
イ 対応可能な訪問診療回数(患者延べ数) (上限の見込み)〔月間〕	回/月

(4)の答が「はい」（訪問看護を実施している）の場合、以下の項目に回答してください。

ア 訪問看護を実施している看護師数	人
イ 対応可能な訪問看護回数(患者延べ数) (上限の見込み)〔月間〕	回/月

2. 小児在宅医療について、該当するものに○を付けてください。

(1) 小児在宅医療に対応している	
(2) 小児在宅医療に対応していないが、今後、参入予定あり（関心あり）	
(3) 小児の訪問看護に対応している	
(4) 小児の訪問看護に対応していないが、今後、参入予定あり（関心あり）	

3. 往診の実施状況について、以下の項目に回答してください。

(1) 往診を実施している〔往診料〕	はい・いいえ
--------------------	--------

4. 看取りの実施状況について、以下の項目に回答してください。

(1) 看取りを実施している〔看取り加算または在宅ターミナル加算〕	はい・いいえ
(2) 看取りを実施した実患者数〔R3年1月～R3年12月〕 （診療報酬の算定にかかわらず、在宅等で死亡診断を行った患者数）	人/年

5. 医療施設一覧への掲載について（公表を希望しない場合は「否」に○を付けてください）

(1) 1(1)の訪問診療を行う医療機関として医療施設一覧に掲載する	可・否
(2) 1(7)の急変時の診療支援を行う医療機関として医療施設一覧に掲載する	可・否
(3) 2(1)の小児在宅医療に対応する医療機関として医療施設一覧に掲載する	可・否
(4) 3(1)の往診を実施する医療機関として医療施設一覧に掲載する	可・否
(5) 4(1)の看取りを実施する医療機関として医療施設一覧に掲載する	可・否

御協力ありがとうございました。